令和4年度 第1回文化財審議会

開催日時 令和4年8月12日(金)午後1時30分～

開催場所 多治見市役所(本庁)4階 会議室

出席委員 深谷滋浩 小木曾郁夫 平林史孝 加藤桂子 立花昭 長谷川幸生
黒田正直 春日美海

欠席委員 藤澤良祐 福島金治

事務局出席者	多治見市教育委員会	教育長	渡邊哲郎
	文化財保護センター	所長	杉村哲也
	〃	主査	矢部由美子
	〃	総括主査	松田直美
	〃	主査(学芸員)	岩井美和
	〃	会計年度任用職員(学芸員)	篠昌志

(進行内容)

1. 開会のことば
2. 教育長あいさつ
4. 辞令交付
5. 会長の互選、副会長の選任
6. 会長あいさつ
7. 新任審議会委員あいさつ
8. 議事録署名者の決定
9. 議 事

(1) 審議・報告事項

審議事項

- ① 市内製陶所について【非公開】
- ② 市内陶芸家について【非公開】

(2) 報告事項

ア 指定文化財について

- ① 令和3年度の実績
 - ・市内製陶所について【非公開】
 - ・無際橋修理について

- ② 令和4年度 年間スケジュール
 - ・ホタル調査について
 - ・サクライソウの調査について
 - ・永保寺庭園内看板の取り替えについて
 - ・永保寺庭園内の木の伐採について
 - ・永保寺庭園内の門の修理について
 - ・永保寺庭園内のトイレ排水管等の取替について
 - ・妙土窯跡の修理等について
 - ・多度神社修理について

イ 埋蔵文化財について

- ① 試掘状況、発掘状況、整理作業の状況

ウ 普及啓発について

- ① 令和3年度の実績
 - ・文化財防火デーについて（感染症拡大防止の観点から中止）
 - ・企画展・移動展について
 - ・文化財講座について
 - ・地域や学校との連携等について
 - ・他館への資料提供について
 - ・寄贈資料について
- ② 令和4年度 年間スケジュール
 - ・企画展について
 - ・他館との共同展示について
 - ・学校展示について
 - ・資料購入について
 - ・意匠研との3Dスキャン研究について
 - ・研究紀要について
 - ・「多治見の文化財」改訂について

7. その他

(議事)

4. 辞令交付

(教育長より各委員の辞令交付をおこなう)

5. 会長の互選、副会長の選任

委員による互選によって会長は深谷滋浩委員に決定。

会長によって副会長は加藤桂子委員が指名された。

6. 会長あいさつ

【委員】新型コロナウイルス感染症の拡大によってここ数年、通常の生活が送れなくなっている。自分の住む地域でも祭りなど多くの人が集まる行事ができなくなっている。しかしそういったここ数年のスタイルが、一つの形として定着してきたように思う。

新型コロナウイルス感染症がなくなったからといって、これまでのような行事の形を復活させることも薄れてきているように思う。新たな動き、今に合わせた動きを作り出さなければならぬ時に来たように思う。

文化財についても、文化財保護や文化財の審議についても形を変えていかなければならないのではないかと思う。文化財そのものもこれからの時代にあった文化財を見出さなければいけない。文化そのものが変わってきている。かつての固定された文化財だけを守ってはいけないと思う。

多治見の文化財を今後どのように考えたらよいかを皆さんと議論し、考えていきたい。

8. 議事録署名者の決定

【事務局】加藤委員、黒田委員に議事録署名をお願いしたい。

【全員】異議なし。

9. 議 事

(1) 審議・報告事項

審議事項

① 市内製陶所について【非公開】

② 市内陶芸家について【非公開】

(報告事項について事務局から報告)

ア 指定文化財について

① 令和3年度の実績

- ・市内製陶所について【非公開】

- ・永保寺無際橋の修理について

無際橋の踏み板の一部が劣化したため、その部分だけとりはずし、仮の板を入れる形で修理した。無際橋は平成 20 年度に全解体修理している。数年後には大規模な修繕が必要。

② 令和 4 年度 年間スケジュール

- ・ホテル調査について

ゲンジボタルの調査は 6 月 2 日（木）から 6 月 30 日（木）までの毎週月曜日と木曜日に行った。6 月 6 日（月）は天候不良のため下流地区調査を中止した。今年の調査日の中で最も多くの発生数（各調査地点の最大生息数の合計）を計測できた日は、6 月 9 日（木）（調査第 3 日目）で、6 月前半がピークとなった。また、上流部と下流部の発生数を比較してみると、上流部は下流部の約 2 倍となった。下流部の特徴として、より下流の調査地点ほど発生数の多い日が遅くなるという傾向が今年も見られた。

ヘイケボタルの調査は 7 月 4 日（月）、11 日（月）に行った。今年は調査開始の平成 6 年度以降、最大値が 4 番目に多い年という結果となった。調査地点の中で最も多くの発生数を計測できる一之洞地点においても 14 匹という結果であった。

- ・サクライソウの調査について

令和 4 年 7 月 30 日（土）の午前 9：00～12：00 に行った。参加者は文化財保護センター職員 3 名、環境課職員 1 名、文化財審議委員、土岐川観察館、自然保護の市民団体であった。令和 2 年度調査で生息を確認できた場所を中心に調査したが、残念ながら令和 4 年度はサクライソウの生息が確認できなかった。しかし、ホンゴウソウを 15 本確認することができた。1.2 c m～3.5 c m 14 本と枯れた状態 2.8 c m 1 本を確認した。状況は 30 c m 四方に集積して生息を確認した。

- ・永保寺庭園内看板の取り替えについて

令和 4 年 5 月に名勝永保寺庭園内で、無際橋近くの注意喚起看板が老朽化により木製屋根がとれたため、取り替えた。

- ・永保寺庭園内の木の伐採について

令和 4 年 5 月 20 日（金）～6 月 27 日（月）に名勝永保寺庭園内の放水銃や防犯カメラ等の防災設備の障害になっていたり、名勝庭園内の建造物に近接し、倒木等すると建造物に被害が及ぶ可能性がある木を伐採した。伐採した木は侍者寮北側・北東放水銃付近のスギ 5 本、ヒノキ 2 本、サクラ 1 本、旧坐禅堂西側のカシ 2 本、鐘楼西側のヒノキ

1本の計11本である。

- ・永保寺庭園内の門の修理について

名勝永保寺庭園内の侍者寮北側の門の袖屋根が経年劣化により腐朽したため、国に現状変更の許可を取って修理する予定。屋根は現在檜皮葺であるが、腐朽しにくい金属板にかえる。

- ・永保寺庭園内のトイレ排水管等の取替について

名勝永保寺庭園内にあるトイレを令和3年度の改修工事で洋式の節水型に取り替えたところ、建物内の地中に埋設された污水管の一部で排水が流れにくい箇所があり、女子の多機能トイレにおいて排水詰まりが頻発するようになった。そのため排水が流れにくい箇所の排水ルートを変更する。あわせて、屋外の地中に埋設されている污水管と污水枡の取替えを行う。

- ・妙土窯跡の修理等について

県史跡妙土窯跡に設置されているフェンスが経年劣化により腐朽しているため、取り替える。また土留めの一部が傾斜しているため、その部分も取り替える。フェンスと土留めの間にある木は、二股に分かれている幹のうち1本が枯れているため、その幹を伐採する。工事は今年度中を予定（詳細時期は未定）。

- ・多度神社修理について

市有形文化財多度神社本殿の保存修理を令和5年度以降に行う。令和5年度に契約し、測量、設計図作成をする。令和5年10月より修理を開始し、令和6年10月までに終了予定。また、自火報などの防災設備を令和6年度に契約し同年10月までに設置予定。

イ 埋蔵文化財について

- ・試掘状況、発掘状況、整理作業の状況

不動産業者等からの埋蔵文化財包蔵地確認に関する問い合わせ件数は、令和3年度は563件で、令和4年度は7月31日現在で187件であった。例年通りの件数である。

試掘調査・個人住宅本発掘調査の件数は、令和3年度は20件で、例年通り件数であった。令和4年度は7月までに3件あった。

- ・令和3年度 本発掘調査、整理作業及び報告書作成の状況

以下の業務は開発事業者と多治見市、(公財)多治見市文化振興事業団による三者協定を締結したのち、(公財)多治見市文化振興事業団埋蔵文化財発掘調査室が開発事業者より委託され行っている。

本発掘調査及び整理作業

- (1) 大沢 10・11・14 号古窯跡、北小木大谷洞 25 号古窯跡発掘調査
- (2) 大針11号古窯跡発掘調査
- (3) 北小木小松針1号古窯跡発掘調査

整理作業及び報告書作成作業

- (1) 大畑赤松3・4号古窯跡報告書

平成30年に多治見市が実施した発掘調査に係る報告書作成について、令和2年度から継続して業務を行い令和3年7月に発掘調査報告書を刊行した。

- (2) 大針6・8・9・11号古窯跡発掘調査報告書

令和元年に多治見市が実施した発掘調査に係る出土遺物整理作業および報告書作成について、同じ開発事業者による大針11号古窯跡発掘調査の整理等を含めた内容で遺物実測、製図等の業務を実施（令和4年度へ継続、令和5年度に刊行予定）。

ウ 普及啓発について

①令和3年度の実績

・文化財立ち入り点検

令和4年1月26日（水）、27日（木）、28日（金）に消防、中部電力とともに行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置を受け、中止した。

・永保寺防災訓練

令和4年1月30日（日）に予定していた永保寺防火訓練は、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置を受け、中止した。

・企画展・移動展について

令和3年度の企画展は「信長朱印状と陶祖の窯」（R03/1/18～6/18）、「古代の多治見ー古墳と集落遺跡ー」（R03/7/5～R04/1/28）、多度神社展（R04/2/14～R04/6/24）で、入館者数は令和3年度合計754人であった。

・文化財講座について

11月6日（土）に講演会「東濃地方の古墳時代」を行った。講師は元可児市学芸員で、参加人数は45人であった。

・地域や学校との連携等について

学校への出張授業は2件で、学校用貸し出しセットの貸し出し件数は4件であった。

- ・他館への資料提供について

市内外の博物館施設等への貸し出しをおこなった。長期貸出は5件、短期貸出は10件であった。

- ・寄贈資料について

国鉄関連資料等の寄贈があり、5件1640点であった。

- ・購入資料について

前田青邨画「古溪 水月窯」(素描額画)を1点購入した。購入額は18万円で、購入先は有限会社山人山荘である。現在美濃焼ミュージアムで展示中である。

② 令和4年度 年間スケジュール

- ・文化財講座について

5月14日(土)に「多度神社見学会」を行った。講師は名古屋工業大学の名誉教授にお願いし、地域住民向け、一般向け、観光ボランティア向けの4回開催した。参加人数は79人であった。

- ・企画展について

「多治見の鉄道史」を文化財保護センター展示室で、令和4年7月4日(月)～12月23日(金)の期間で開催中。寄付いただいた国鉄関連資料を中心に、中央線、太多線、笠原鉄道、岡多線について歴史などを紹介。また、特別開館日を8/13(土)、10/9(土)の2日間設ける予定。

また、令和5年1月～6月は「やきもの入門～多治見の近世編～」を開催する。この展示は令和2年度に開催した「やきもの入門～多治見の古代中世編～」に続く第2弾で、出土遺物および購入資料などの収蔵品で多治見の近世窯業の紹介をおこなう。

- ・他館との共同展示について

多治見市陶磁器意匠研究所との共同展示「文化財保護センター×陶磁器意匠研究所連携企画 多治見のやきもの vol.4 市之倉」を令和5年1月27日(金)～3月5日(日)の期間開催する。開催場所は意匠研究所で、内容は市之倉のやきものの歴史を紹介するもの。

- ・学校での民具等の展示整備について

各学校所蔵および文化財保護センター所蔵の民具等資料を使い、余裕教室で展示室を設営するもの。年に2校ずつ実施予定。令和4年度の整備は南姫小学校と脇之島小学校で令和4年8月完成予定である。令和5年度の展示整備校は養正小学校、市之倉小学校の2校である。

・資料購入について

令和4年度に西浦焼等陶磁器資料110件(209点)を600万円で購入した。購入先は個人である。この陶磁器資料は西浦焼、加藤五輔、松原栄助等の美濃の明治時代の陶磁器および、明治時代の瀬戸、京都などの資料。西浦焼が影響を受けたとされる海外製品(ルックウッド、ロイヤルコペンハーゲン)などである。

・意匠研との3Dスキャン研究について

多治見市陶磁器意匠研究所の所有する3Dスキャナーで、文化財保護センター収蔵品の3Dバーチャルデータ化をするもの。3Dバーチャル技術で本市での有効活用を検証し、文化財保護センター所蔵品のデータ保存を行う。

この成果は「文化財保護センター×陶磁器意匠研究所連携企画 多治見のやきもの vol.4 市之倉」で3Dデータ(VR・AR)を展示予定。また、陶磁器意匠研究所及び文化財保護センターホームページにて3Dデータを掲載予定。

・研究紀要第16号について

長福寺文書「美濃国池田御厨某寺奉加帳」をテーマに令和5年2月発行予定で進めている。発行部数は500部、総ページ数100ページの予定である。奉加帳について、愛知学院大学の中世史専門の教授、文化財審議委員に執筆いただき、長福寺歴代住職とその歴史について事務局が担当する。また、令和3年に行われた愛知学院大学土曜セミナー「歴史学の最前線」講演録(「東濃型山茶碗の生産と流通」)も掲載予定。

・「多治見の文化財」改訂について

平成29年に改訂された「多治見の文化財」について、内容の補充、削除、並び順の変更などの改訂を行う。今年度は執筆、編集を行い、来年度印刷、発行予定。各文化財の文章の執筆を文化財審議会委員に依頼予定。

【委員】以上で審議会を終了する。

終了時刻：15時40分